

# 額保 少保 短期 長期

## 第4回全国代理店研修会を実施

### 現状と方向性を説明

ベル少額短期保険（福岡県福岡市）は11月22日、世界貿易センタービル（東京都港区）で第4回全国代理店研修会を実施した。有馬正見社長（写真）

が同社の現状と方向性を説明したほか、高木信也取締役総務部長兼業務部長が2010年9月末中間決算の概要を報告した。当日は、同社の代理店となつて

「千の風」をサポート保険を販売することで、契約者の家族と長い付き合いをしてほしいとあいさつした。また、会社の営業方針や戦略について、

「地域で信頼される仕事をすることで地域一番店になれる。地域の人からの信頼を得られれば、その葬儀社が勧める保険は良いものだから」と強調。「顧客にとつて分かりやすく、募集人にとつても勧めやすい募集資料の作成や、ニーズの多様化に合わせた新商品を開発」する考えを示した。「葬儀保険」を商標登録したことも発表

した。続いて、10年9月末の中間決算を説明した高木取締役は、「千の風」の保有契約件数が同年3月末の5250件から6398件に増加し、順調に推移して

いると報告。経常収益は3億5600万円となり、「今後も順調に保険料収入が増えれば前期を上回る」との見込みを示した。経常利益が3400万円となったことについては、「前期から経費や人件費を削減したことにより改善した。期末には各種準備金を積む」と説明。現在の業績を維持すれば通年でも黒字化するとの見通しを示した。また、登録代理店数は現時点で111社、

有馬社長は、葬儀業界は変革の時代に入っているとし、「葬儀費用

は変革の時代に入っているとし、「葬儀費用

は変革の時代に入っているとし、「葬儀費用

は変革の時代に入っているとし、「葬儀費用

は変革の時代に入っているとし、「葬儀費用

